



十月 (大)

かみなづき
神無月

心宿

十月八日寒露の節より
月命戌戌六白金星の月
暗剣殺西北方

旧八月小
九月大

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
1日	金	みづのえうま	三碧	北海道一般鳥獣狩猟解禁、労働衛生週間、法の日、共同募金、都民の日	旧八月小	廿五	友引	おさん	牛	大みう	5.36	17.25	—	14.36
2日	土	みづのひつじ	二黒	京都北野天満宮瑞穂祭(1日～5日)、福島二本松提灯祭、不成就日		廿六	先負	ひらく	女	●	5.36	17.24	0.36	15.16
3日	日	きのえさる	一白	十方ぐれ入り、一粒万倍日		廿七	佛滅	とづ	虚	神よし	5.37	17.22	1.40	15.28
4日	月	きのとり	九紫	里親デー		廿八	大安	たつ	危	月とく	5.38	17.21	2.46	15.49
5日	火	ひのえいぬ	八白	達磨忌		廿九	赤口	のぞく	室	母倉	5.39	17.20	3.52	15.55
6日	水	ひのと	七赤	●朔二〇時〇五分、亥の子餅、不成就日	旧九月大	朔	先負	みつ	壁	大みう	5.40	17.18	5.01	16.55
7日	木	つちのえね	六白	長崎くんち(9日迄)		二	佛滅	たいら	奎	大くわ	5.40	17.17	6.10	17.56
8日	金	つちのとし	五黄	寒露一〇時三九分、阿寒まりも祭		三	大安	たいら	婁	十し	5.41	17.15	7.21	18.29
9日	土	かえとら	四緑	国際交通週間、世界郵便デー、久留米高良大社例祭		四	赤口	さだん	胃	●	5.42	17.14	8.35	19.07
10日	日	かのと	三碧	目の愛護デー、香川金刀比羅宮祭、大津祭、川崎身代り不動尊認知症除・習慣病除		五	先勝	とる	昂	くゑ日	5.43	17.13	9.49	19.51
11日	月	みづのえうま	二黒	●スポーツの日、東京池上本門寺御会式、神戸海神社祭		六	友引	やぶる	畢	大みう	5.44	17.11	11.01	20.43
12日	火	みづのと	一白	横浜総持寺御延忌会、芭蕉忌、天一天上		七	先負	あやぶ	觜	くゑ日	5.45	17.10	12.08	21.42
13日	水	きのえうま	九紫	●上弦二二時二五分、和歌山龜山神社祭、日蓮聖人忌、嵐雪忌、三隣亡、一粒万倍日		八	佛滅	なる	参	くゑ日	5.45	17.09	13.07	22.46
14日	木	きのとひつじ	八白	旧重陽、鉄道の日、不成就日		九	大安	おさん	井	大みう	5.46	17.07	13.57	23.54

この月の天候は、大陸方面の高気圧が、いつどれほどに発達するかにかかっている。例年よりも早ければ秋の長雨が早く明け、秋らしい晴天の日が多く見られる。また、発達が遅い年は十月になってもまだ台風心配があり、ぐずった天候が続くようである。また、「女心と秋の空」といわれるように、澄み切った青空が急変することが多いのである。晴れた日は、日中の温度がかなり昇り、夜冷え込むことが多く、気温の変化には十分注意したい。

〔婚〕十月の別称を「神無月(旧暦十月)」というが、これは、全国の氏神様がこの月に雲に集まるので、氏神不在の月という伝説によるものである。出雲の神様は、縁結びの神で、一年のうちでこの月に、全国の神がそこに集まるのは、話し合いの中に男女の縁を取り決めることも含まれているためといわれている。

日	曜日	干支	九星	行	事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
15日	金	ひのえさる	七赤	新宮熊野速玉大社祭、姫路喧嘩祭、天理石上神宮例祭		十	赤口	ひらく	鬼	くゑ日	5.47	17.06	—	20.15
16日	土	ひのと	六白	釜石曳舟祭、愛媛新居浜太鼓祭、一粒万倍日		十一	先勝	とづ	柳	くゑ日	5.48	17.05	1.10	20.57
17日	日	つちのえいぬ	五黄	貯蓄の日、伊勢神宮神嘗祭、日光東照宮秋祭		十二	友引	たつ	星	くゑ日	5.49	17.03	2.30	21.31
18日	月	つちのと	四緑	十三夜、統計の日、東京靖国神社秋祭、東京浅草観音普供養		十三	先負	のぞく	張	ぢう日	5.50	17.02	3.19	22.03
19日	火	かえね	三碧	京都建勲神社船岡祭、東京日本橋べつたら市		十四	佛滅	みつ	翼	きこ	5.51	17.01	4.35	22.34
20日	水	かのと	二黒	土用一三時二六分、●望二二時五七分、えびす講、誓文払い		十五	大安	たいら	軫	十し	5.52	17.00	5.07	23.04
21日	木	みづのえうま	一白	宇都宮二荒山神社例祭		十六	赤口	さだん	角	●	5.52	16.58	6.05	23.33
22日	金	みづのと	九紫	京都平安神宮時代祭、京都鞍馬の火まつり、不成就日		十七	先勝	とる	亢	●	5.53	16.57	7.04	23.54
23日	土	きのえさる	八白	霜降一三時五十分、電信電話記念日		十八	友引	やぶる	氏	大みう	5.54	16.56	8.02	24.12
24日	日	きのと	七赤	国連の日、伊賀上野天神祭		十九	先負	あやぶ	房	神よし	5.55	16.55	9.01	24.37
25日	月	ひのえうま	六白	三隣亡、一粒万倍日		廿	佛滅	なる	心	神よし	5.56	16.54	10.28	25.08
26日	火	ひのとひつじ	五黄	原子力の日、宮崎神宮例祭、天理教本部秋季大祭		廿一	大安	おさん	尾	神よし	5.57	16.53	11.45	25.36
27日	水	つちのえさる	四緑	読書週間(11月9日迄)、天しや		廿二	赤口	ひらく	箕	よろづ	5.58	16.51	12.29	25.59
28日	木	つちのと	三碧	速記記念日、一粒万倍日		廿三	先勝	とづ	斗	神よし	5.59	16.50	1.40	26.16
29日	金	かえいぬ	二黒	●下弦五時〇五分、福岡香椎宮秋季例祭		廿四	友引	たつ	牛	大みう	6.00	16.49	2.46	26.49
30日	土	かのと	一白	不成就日		廿五	先負	のぞく	女	百事吉	6.01	16.48	3.52	27.18
31日	日	みづのえね	九紫	世界勤儉デー、八せん始め		廿六	佛滅	みつ	虚	天おん	6.02	16.47	5.01	27.50

〔葬〕薬石の効なく、または不慮の災厄にあつたり、たとえそれが眠るような長寿の大往生……であつても、現世と冥界の別は必ず一度はあるものとは知らぬが、悲しくつらいものである。儀式までの手配は次のようである。

◇死者を北枕にする。
(釈迦入滅の姿にならう)

◇目を閉ざし、手を胸の上に組むように形をとる。

◇神棚や仏壇を閉ざし、忌中の半紙を戸口に貼る。

◇死亡のことを近親や寺に知らせる。

◇葬儀の打ち合わせ。

◇葬儀社への交渉。

◇湯灌、納棺の準備及び納棺。

◇死亡通知の作成。祭壇の作成。

◇お通夜。

◇告別式、一般焼香。

〔祭〕「スポーツの日」は、元々は「体育の日」と呼ばれていた(令和二年から名称変更)。昭和三十九年東京オリピックを記念して制定。